

地域社会との緊密な連携を築こう

～ P T Aが地域と学校の架け橋となり、子どもの健やかな成長を見守る～

安城市立安城東部小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は安市の北東部にあり、安城市役所から約 2.5 km の位置にある。各学年 3 学級（特別支援学級 4 学級）、全校児童数 495 名の中規模校で、学校の周辺には田畠があり、のどかな環境の中で地域とのつながりを大切にしている学区である。

学校教育目標を「いのちを大切にし、たくましく、心豊かに生きる子の育成」と掲げ、「元気でなかよく かしこい東部っ子」をスローガンに、家庭や地域と連携して教育活動を行っている。

2 研究のねらい

子どもたちが安全な環境で安心して学校生活を送れるように、家庭・学校・地域と連携し、子どもたちの健やかな成長を見守ると共に、ボランティア活動を通して、子どもたちと学校に寄り添う活動をしていきたいと考え、本研究に取り組んだ。

3 研究の仮説

P T Aが地域と学校の架け橋となり活動を行っていくことで、地域とのつながりを絶やすことなく、地域全体で子どもたちを見守ることができ、子どもたちの健全育成につながるだろう。

4 研究の方法

P T A新聞や学校だより、スマートフォンアプリを使用しながら積極的に情報を発信し、ボランティアが参加しやすいように、P T Aが基盤となり活動する。P T A実行委員会を定期的に開催し、意見交換しながら、学校支援に多くの方の協力が得られるような環境を作る。

5 研究の実践

（1）子どもの見守り活動

ア 登下校の見守り活動

子どもたちが安全に登下校できるように、今年度は 35 名の地域の方と保護者がスクールガードボランティアとして参加していただいている。緑色のベストを着用し、学校付近や集合場所までの付き添い、危険な場所（交差点等）など、登下校時に子どもたちの見守りを行っている。一部の地区では、夏の下校時に公民館を開けて、トイレなど子どもたちの休憩場所を提供して下さり、熱中症対策にもご尽力いただいている。



イ 長期休業中の校外指導

P T A役員と校外指導委員は、長期休業中に子どもの見守り活動として、学区の校外指導を行っている。担当する地区の公園を巡回し、子どもたちに



直接声をかけたり、商業施設では店員に子どもの様子を聞いたりしている。活動後には、子どもたちの様子や気づいたことを報告し、PTAの取り組みとして学校だよりの中で保護者や地域の方に情報を共有している。今後も、子どもたちが安心して過ごせるように、保護者や地域の方と協力しながら見守っていきたい。

（2）資源回収

本校は、年3回資源回収を行っている。地区によっては、PTAだけでなく子ども会と連携をとりながら回収の仕事を分担し、新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、布類を回収している。町内会には資源回収の文書回覧を依頼し、地域の方々にも協力を得ている。前日に、町内放送で協力を呼びかけて下さっている地区もある。そのおかげで、毎回スムーズな活動が出来ている。収益は、子どもたちの教育活動やPTA活動に役立てている。



（3）PTA新聞「あんとう」の発行

PTA新聞は、年2回発行している。PTAの4つの委員会の活動を紹介したり、入学した1年生や卒業する6年生に対するお祝いの言葉を贈ったりしている。保護者だけでなく、学区の町内会長、民生児童委員、子ども会役員等からなる青少年健全育成会の会員にも配付し、協力・理解が得られるようにしている。

（4）講演会の開催

高学年になると、携帯やスマートフォンをもつ子どもが多くなる。SNS、メッセンジャーアプリでのトラブルもあり、保護者からの心配な声を聞く。そこで、演題を「タブレット・携帯を正しく便利に使用するために～学校・地域・家庭が連携し子どもを見守る～」とし、情報モラルに関する講演会を計画した。子どもの対象は5・6年生とし、SNSやインターネットを便利に安全に使用する方法を学んだ。PTA会員以外にも、青少年健全育成会員等地域の方にもご参加いただき、学校・地域・家庭が連携し、子どもをネット環境から守ろうとする意識を高めた。

6 研究の考察

コロナ後から子どもたちと地域の方と接する機会が減り、学校行事も縮小される中、子どもたちのためにとボランティア活動に参加していただき、地域の方に見守られているという安心感が、子どもたちだけではなく保護者や学校にも伝わっている。

子どもたちが心身ともに心豊かに生きるために、地域との交流は不可欠であり、コミュニケーション能力の向上、感謝や思いやりの心の育成につながるだろう。

7 成果と今後の課題

PTA活動を通じて、共働きや核家族が増える中、家庭・学校・地域と連携を取ることで、地域全体で子どもたちを見守ることができた。しかし、PTAの役員を引き受けることに負担を感じる会員も多い。今後もPTAの活動を無理なく続けていけるよう、保護者や地域の方の声を聞きながら、持続可能なPTA活動となるよう、取り組んでいきたい。